

松江市の観光-松江城と堀川-

9班

藤澤雪乃、前住蓮香、牧田萌愛、三好涼太、村上漱真、諸田道旭



(<http://www.kankou-shimane.com/ja/photo/image/503/general/503.jpg>)

乗船客への聞き取り調査

- 質問事項

①出身都道府県

②性別

③年代

④堀川遊覧船に乗るのは何回目か

⑤なぜ、松江の観光地で堀川遊覧船を選んだのか

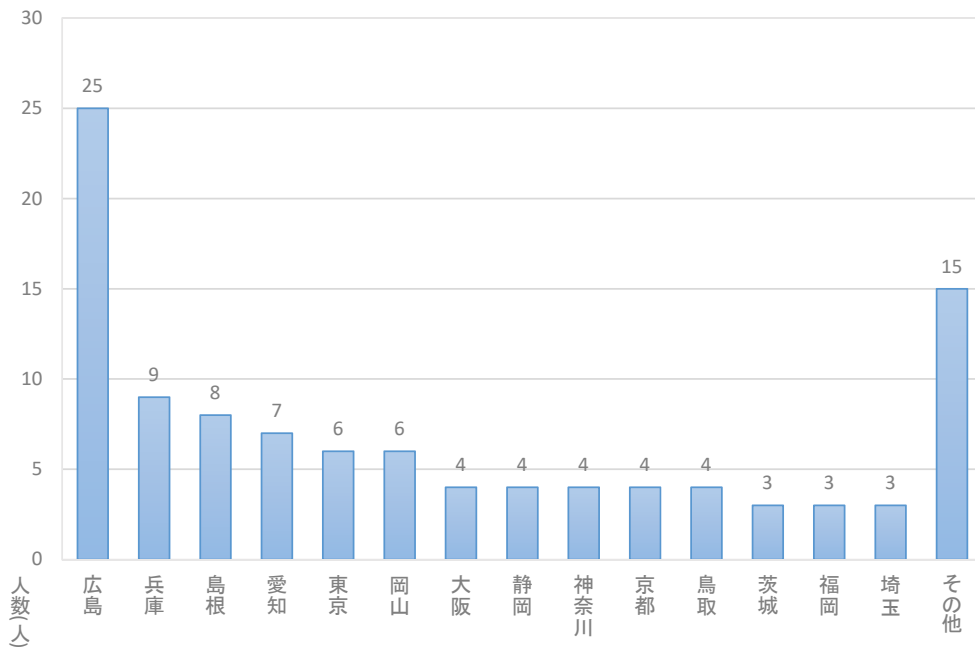
⑥他の遊覧船で堀川遊覧船のような船に乗った事はあるか

⑦実際、遊覧船に乗ってみての感想は

これらの質問を乗船後の利用者に聞いた。

1. どこから来たか

図1 どこから来たか
(2017年6月3日・4日調査)



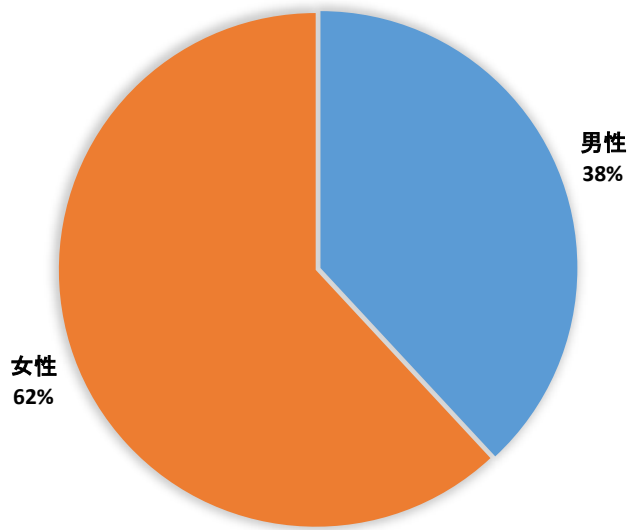
広島や島根県内からの旅行客が多い

→**県内や同じ中国地方**ということで訪れやすい。広島⇄島根間に高速道路が存在。

愛知や東京から来たという人も目立つ。
→**ツアー客が多かった**ことと関係があると思われる。

2. 性別

図2 性別
(2017年6月3日・4日調査)



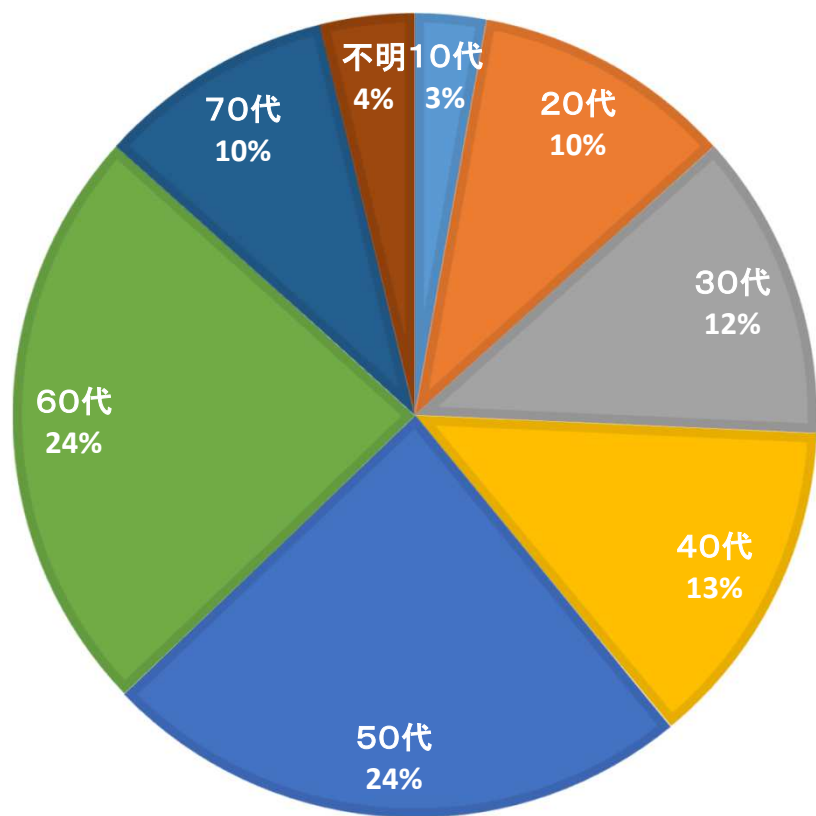
女性のほうが多い。

→乗客の中には、**女性だけのグループ**で搭乗した人や、**子供連れの人**が多かった。

→遊覧船から見えるきれいな景色が女性グループをひきつけ、また屋根が上下するギミックが子供たちの興味をひいているため

3.遊覧船乗客の年代別割合

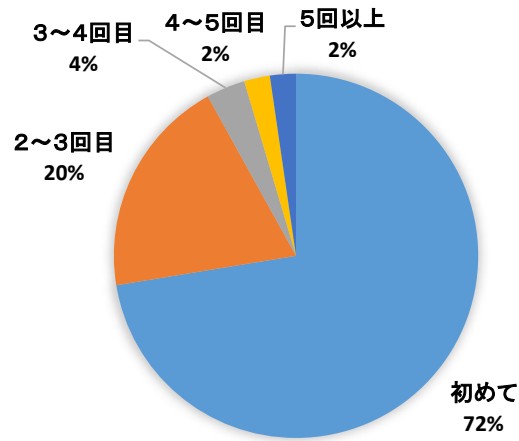
図3 堀川遊覧船乗客の年代別割合
6月3日、4日 大手前広場乗船場
ふれあい広場乗船場



- ・50代、60代の割合が同率で一番高い。
- ・10代は3%とほぼいない

4.堀川遊覧船に乗るのは何回目か

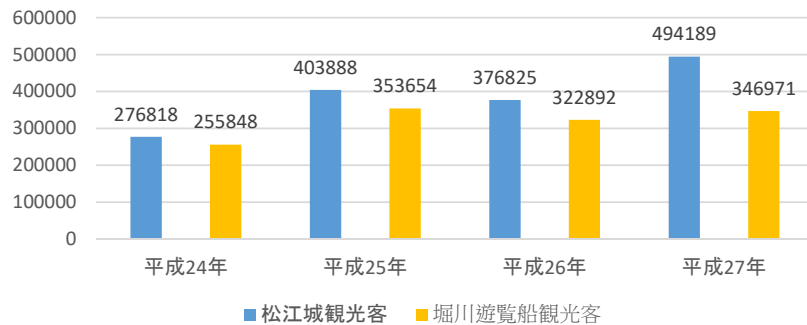
図4 堀川遊覧船に乗るのは何回目か
(2017年6月3日・4日調査)



初めて遊覧船に乗る人が群を抜いて多い。なかには10回以上も乗っているような常連の方もいた。

→アンケートでは、松江城には訪れたことがあっても遊覧船は乗ったことがなかったという人が多かった。松江城への訪問回数と遊覧船への搭乗回数には差がある。

図5 松江城と堀川遊覧船の観光客数比較
(参考:平成27年松江市観光動態調査結果
平成25年島根県観光動態調査結果)



5. なぜ、松江の観光地で堀川遊覧船を選んだのか

(主要な回答)

- ・楽しそうだから
- ・ガイドブックといった広告などで知ったから
- ・旅館や友達の紹介
- ・ツアーや会社の旅行に組み込まれていたから
- ・乗った事がなかったから
- ・珍しいと思ったから
- ・ネットなどの口コミで評判が良かったから



6. 他の遊覧船で堀川遊覧船のような船に乗った事はあるか

(主要な回答)

- ・堀川遊覧船が初めて
- ・柳川お堀巡り
- ・近江水郷めぐり
- ・ベネチア
- ・横浜港内遊覧船
- ・隅田川の遊覧船



堀川遊覧船



柳川お堀巡り



近江水郷めぐり



ベネチア



横浜港内遊覧船



隅田川の遊覧船

7. 実際、遊覧船に乗ってみての感想は

(主要な回答)

- ・リラックスできた
- ・ゆったりしていて良かった
- ・先頭さんの歌が良かった
- ・景色が良かった
- ・散歩と違った風を感じられた

→実際に僕たちも遊覧船に乗ってみて、松江市の風情を楽しめたり、松江の歴史を感じながらゆったり過ごせた。



松江城大手前広場駐車場 ナンバープレート調査

●実施日 2017年6月3日(土)、6月4日(日)

●調査台数 6月3日(土) 143台
6月4日(日) 175台

●調査者 藤澤雪乃、前住蓮香、
牧田萌愛、三好涼太

(Googleマップより)



松江城大手前広場駐車場 ナンバープレート調査

- 収容台数

普通車67台

大型バスは乗り降りのみ

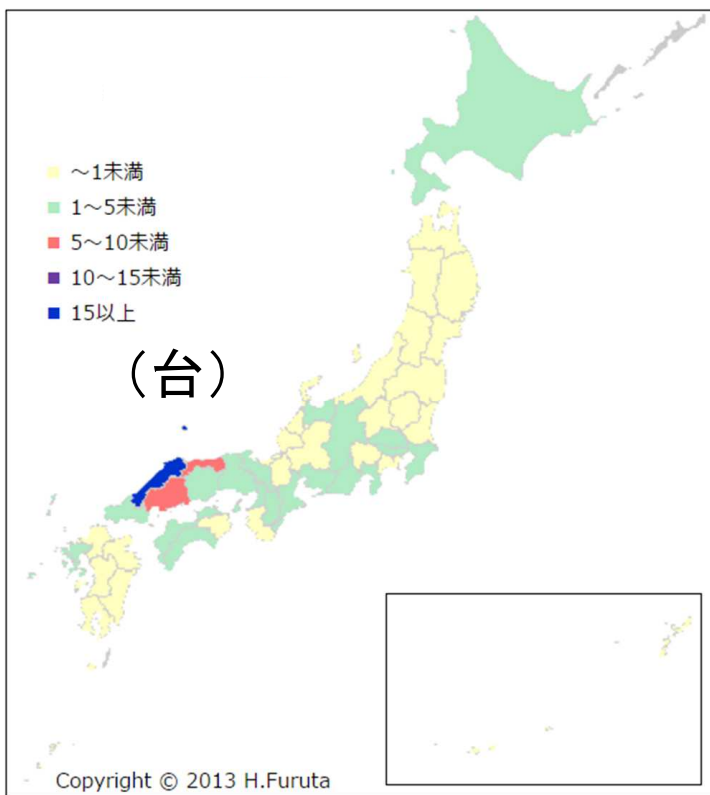
* レンタカーは含まない

(https://www.heisei-car.jp/wp/wp-content/uploads/2015/06/IMG_P8125-e1435059312125.jpg)

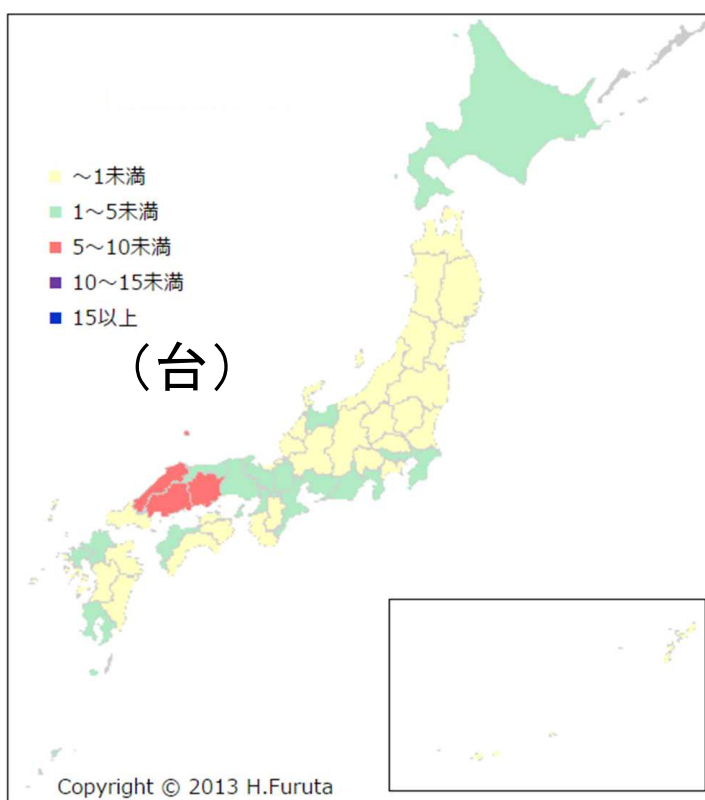


6月3日(土)

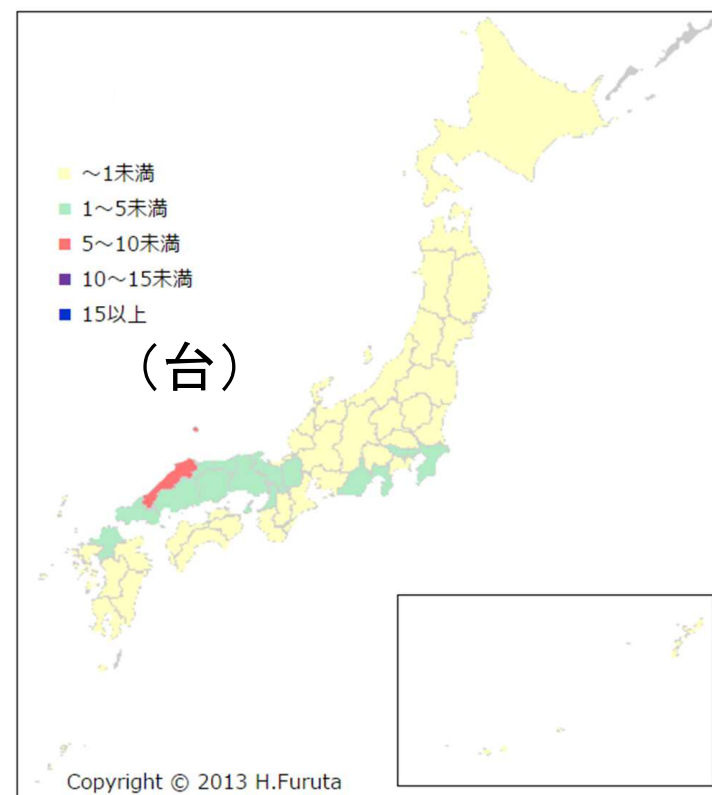
12時台、計66台



13時台、計42台

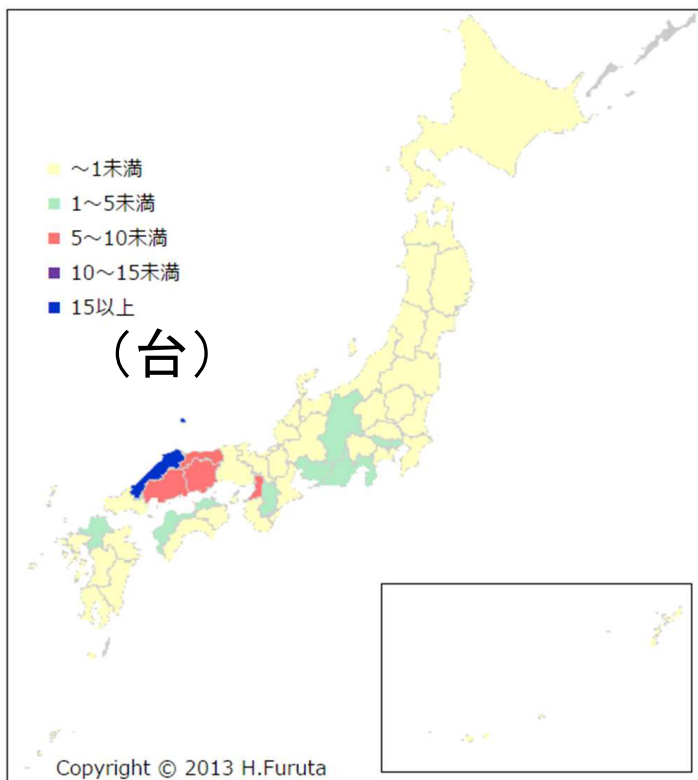


14時台、計35台

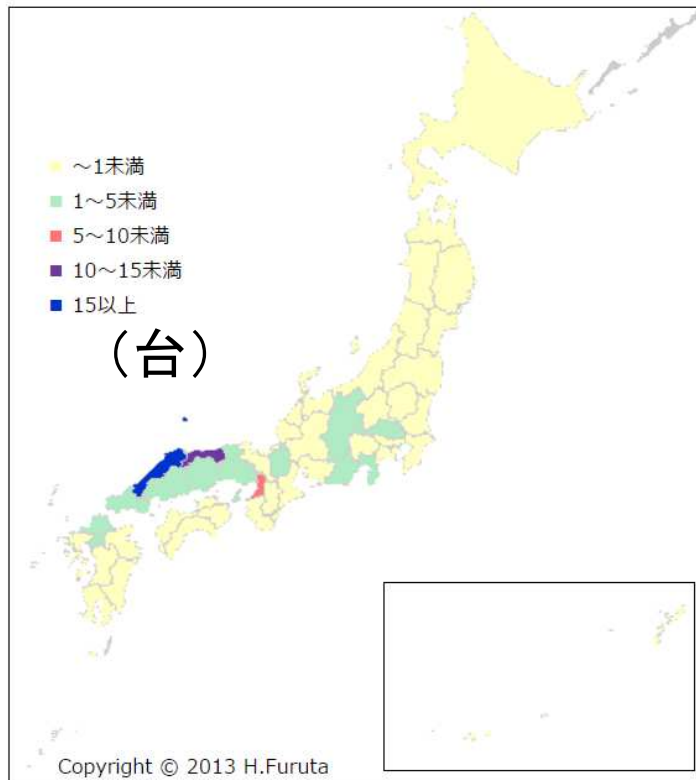


6月4日(日)

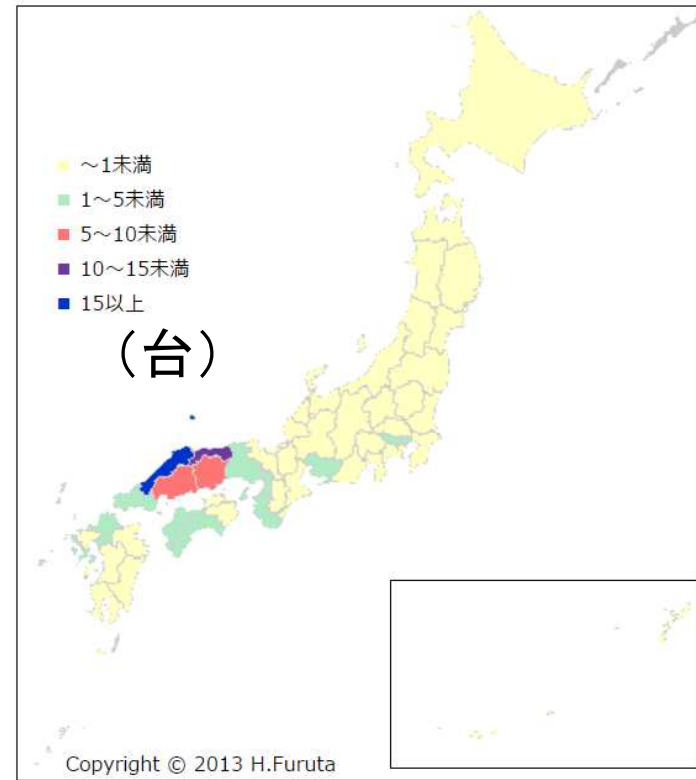
12時台、計58台



13時台、計55台



14時台、計62台



ふれあい広場駐車場(大型バス専用) ナンバープレート調査

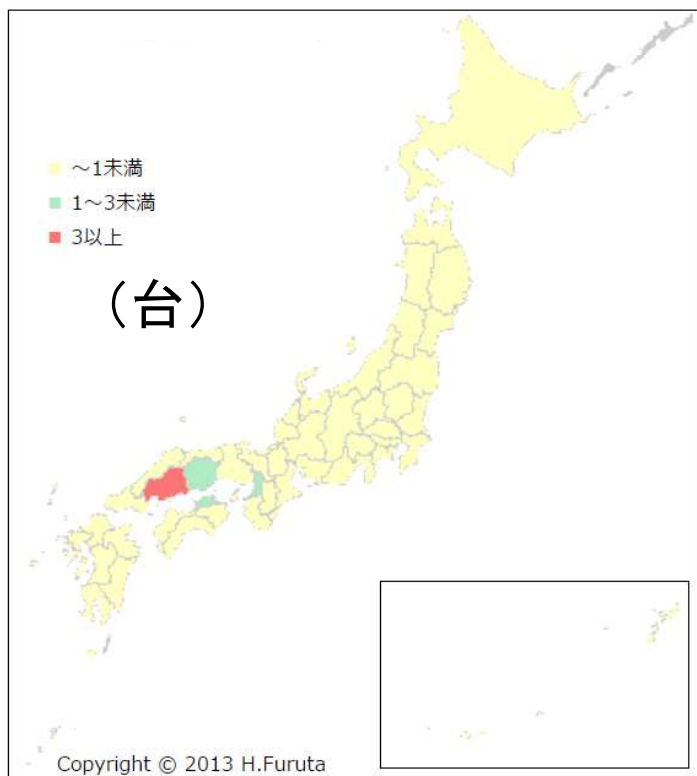
- 実施日 2017年6月3日(土)
6月4日(日)
- 調査台数 6月3日(土) 23台
6月4日(日) 20台
- 調査者 藤澤雪乃、前住蓮香
牧田萌愛、三好涼太
- 収容台数 大型バス20台
- 調査目的 堀川遊覧船に
乗船する団体客の分布を
調査する。



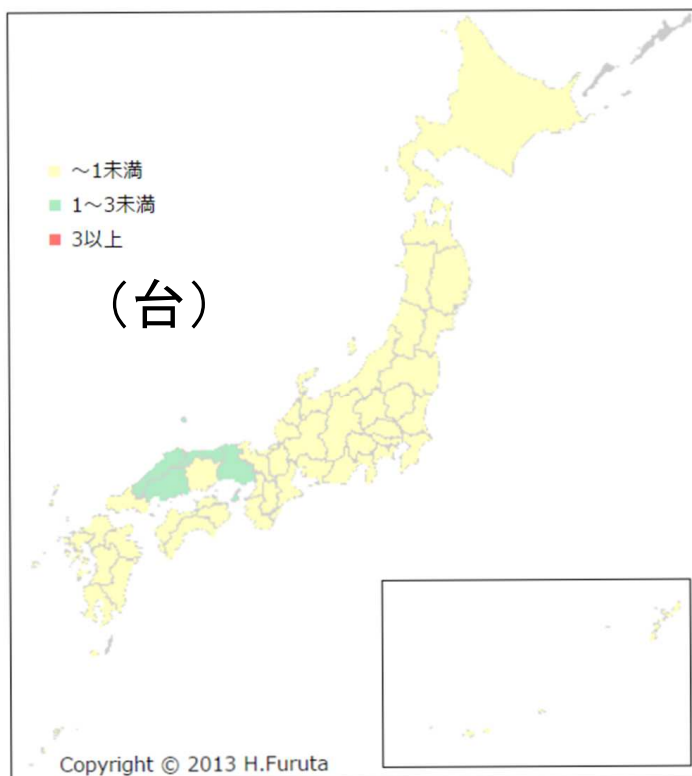
(Googleマップより)

6月3日(土)

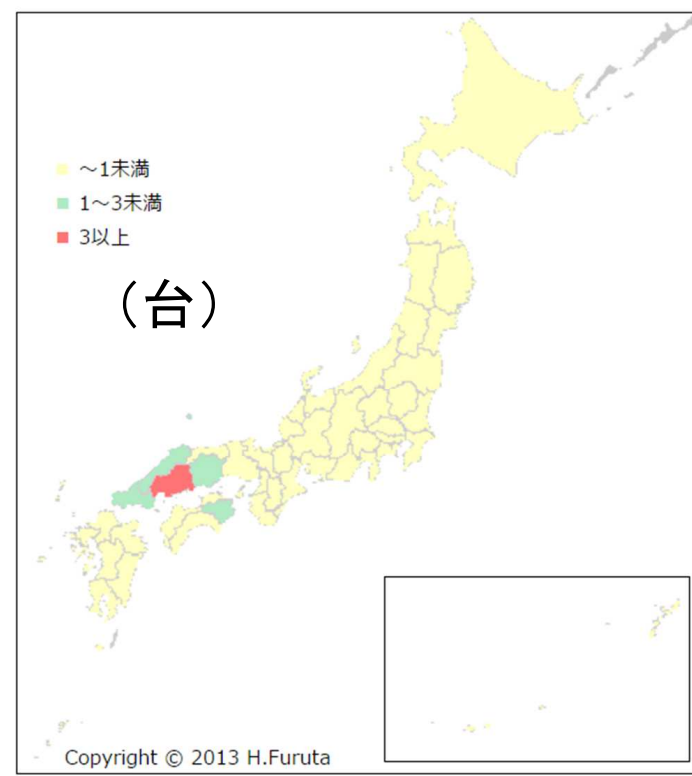
12時台、計8台



13時台、計6台

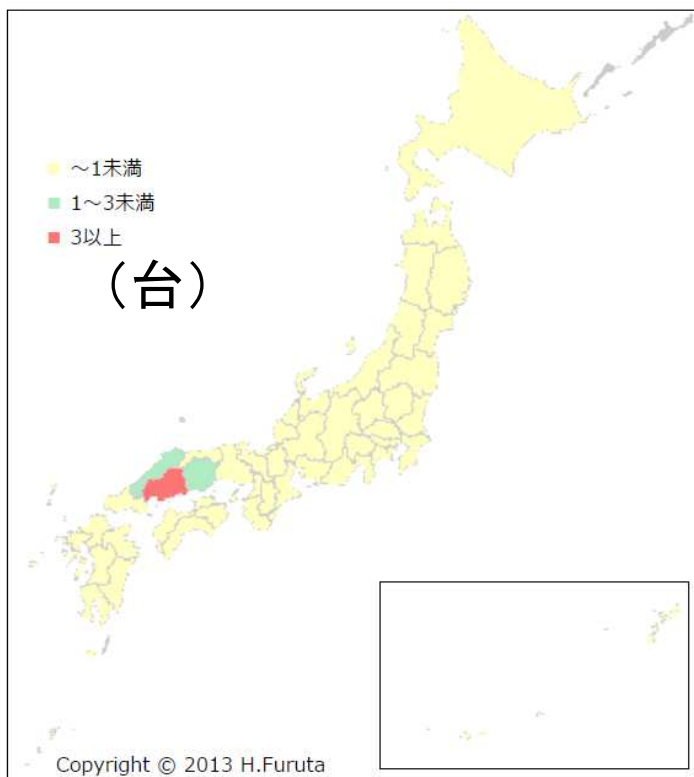


14時台、計9台

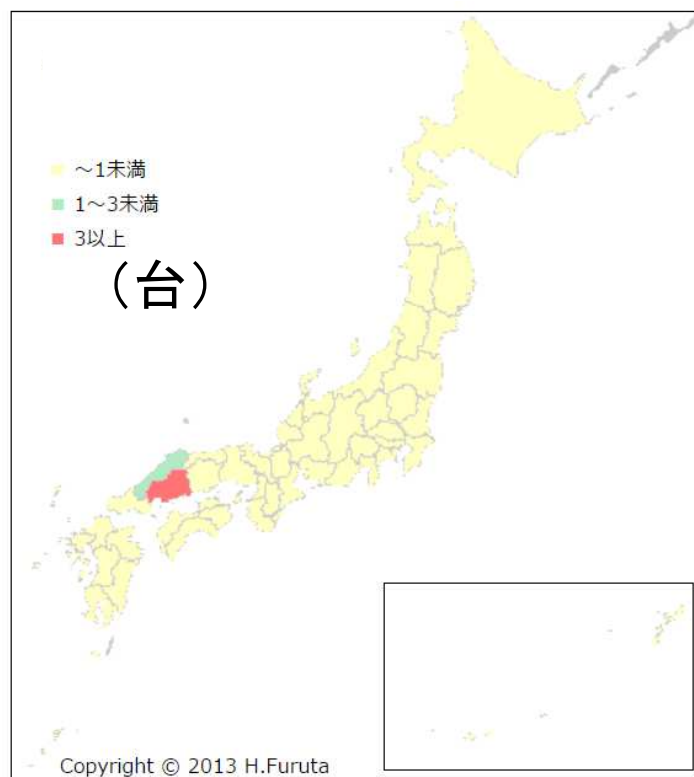


6月4日(日)

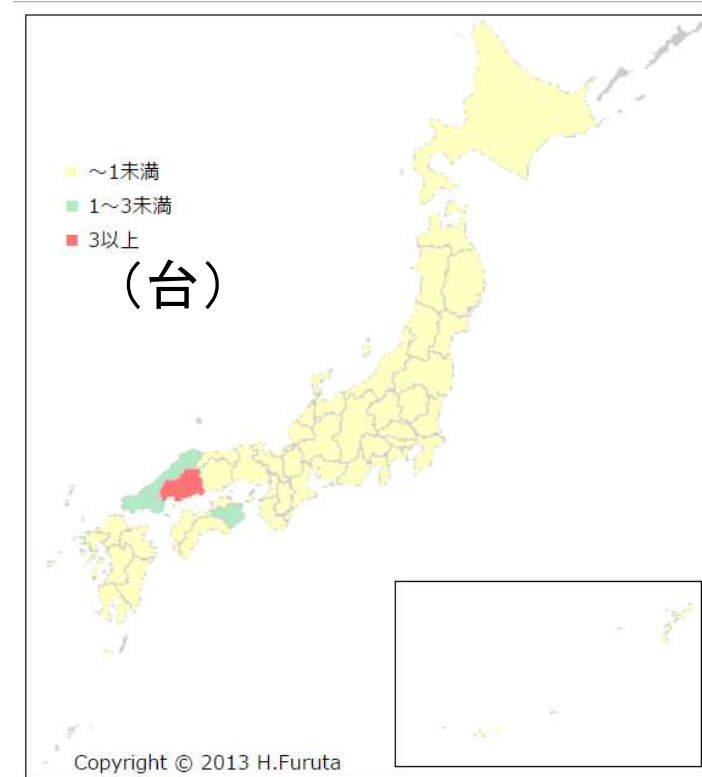
11時台、計7台



12時台、計6台



13時台、計7台



事務局への聞き取り調査

- 質問事項

- ①利用者の関係性の特徴
- ②年間乗船客数の推移
- ③月別乗船客数の推移
- ④乗船客のなかでの日本人と外国人の割合
過去の取り組みとその成果、現在の取り組み

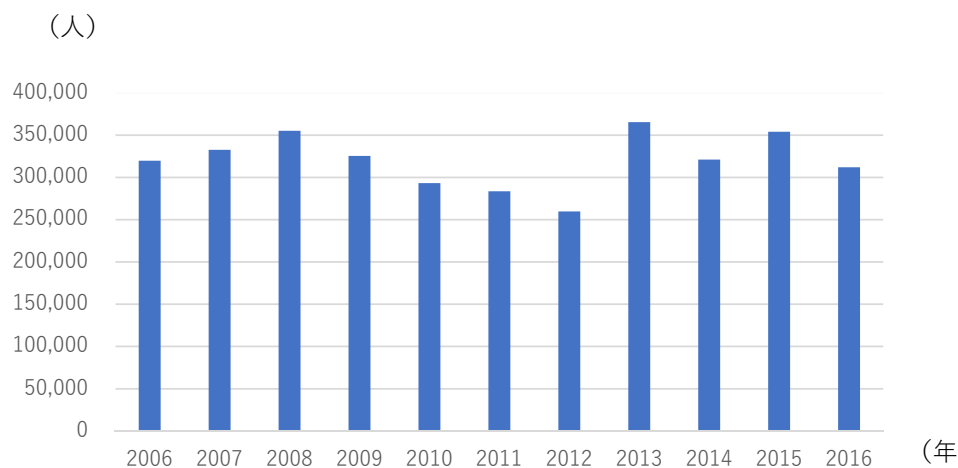
1.利用者の関係性の特徴

- 61%と家族連れが1番多い(家族旅行が大半を占める)
- 2、3は図1、図2を参照

4. 近年の取り組み(大学サークルとの連携、イベントなどの利用者増加に向けての取り組み)

- 5月に全国高校総体の勝ち船、実り船を作る。
- 大人になってまた来てほしいということで、割引カードを渡す。
→長いスパンでの集客を目指す
- 夏に親子で楽しめる仕掛けを作る。
例 堀川自然探検隊→船上から城周辺の動植物を観察。
- 秋に水灯籠を作り、10月は、夜6時から夜間運航をする。
- 冬はこたつを出し、船に乗らないと見えないオブジェをコースに配置

• 図1 年間乗船客数の推移(2006年～2016年)
(松江市観光振興公社提供資料より作成)



・2013年
出雲大社の御本殿の修造が終わり、それに伴って様々な奉祝行事・記念行事が執り行われた。

・2015年
松江城が国宝に指定された。その後も年間を通じて様々なイベントが開催されており2016年には600万人を達成。

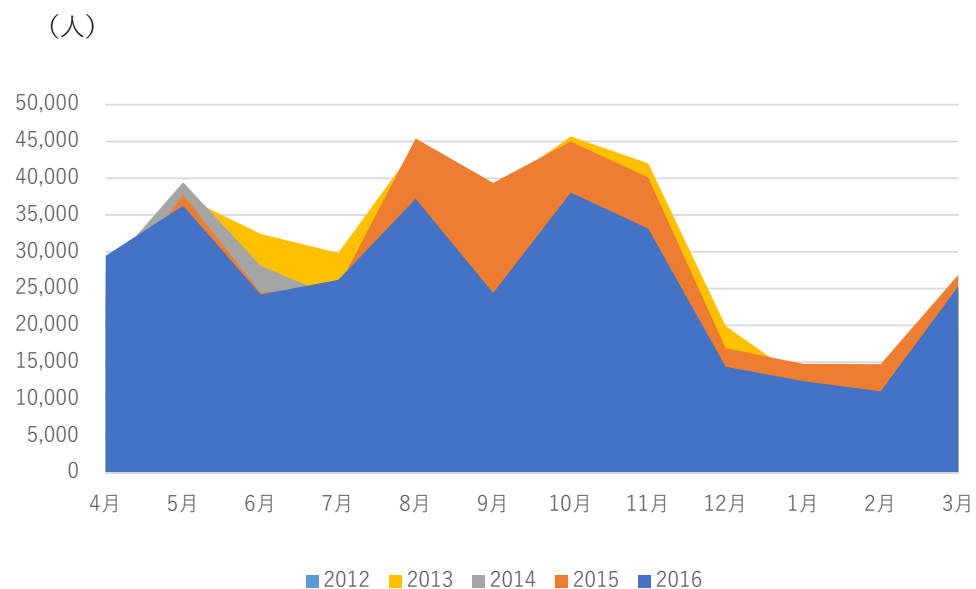
・2009年
新型インフルエンザの流行により観光客数が減少。

・2010年、2011年
東日本大震災の影響で観光客数が減少。

・2012年
6月の米子橋架け替えにより、半周コースでの運航になったため観光客数が減少。

• 図2 月別乗船客数の推移(2012年～2016年)

(松江市観光振興公社提供資料より作成)



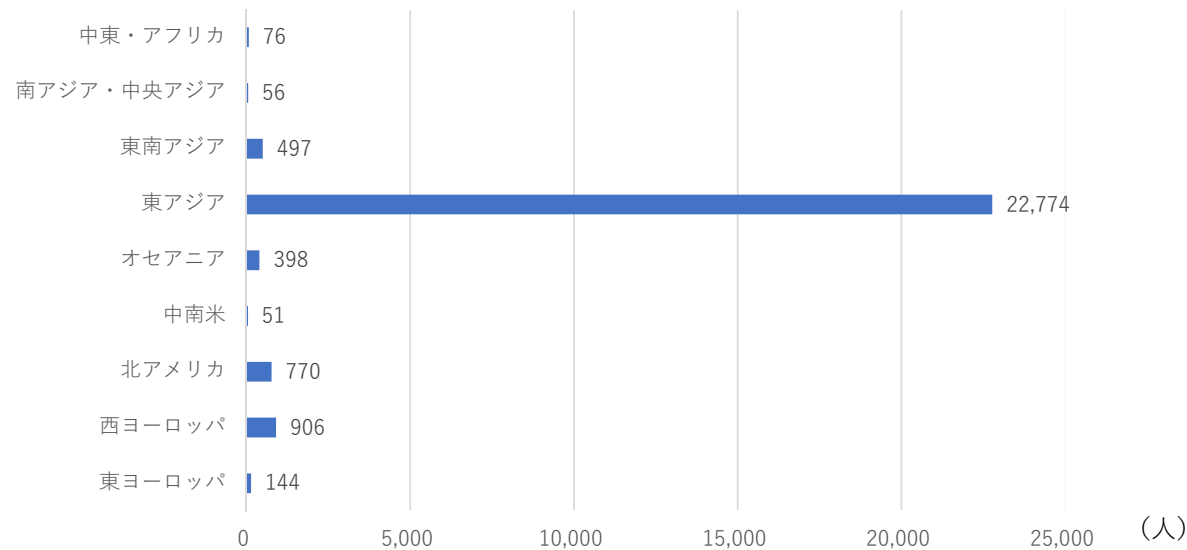
・4月、5月は草木が咲き始め見ごろを迎える。

・8月は夏休みということもあって、家族連れの観光客数が増加する。特に2015年の7月からは松江城の国宝指定により観光客数が急増。

・10月は行楽シーズンで観光客数が増加する。

・12月から2月にかけての観光客数の減少は寒さが影響していると考えられる。

図3 地域別の外国人乗船客数(2016年)
(松江市観光振興公社提供資料より作成)



- ・東アジアからの観光客が乗船客数の大半を占めている
- アジア各国間の航空路線やクルーズ船などの増加、ビザの発給緩和などが主な要因である

図4 地域別の外国人乗船客数における
東アジアの内訳(2016年)
(松江市観光振興公社提供資料より作成)

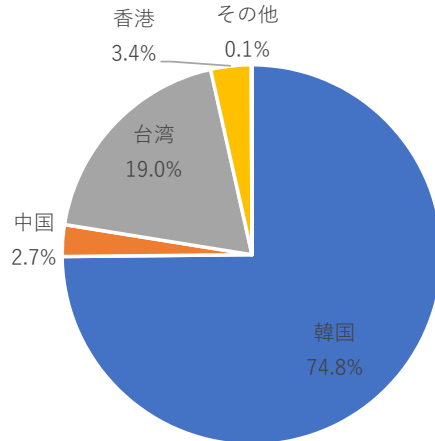
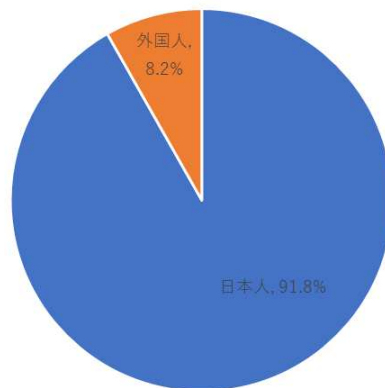


図5 乗船客のなかでの日本人と外国人の割合
(2016年)
(松江市観光振興公社提供資料より作成)



- ・東アジアの中でも韓国が大半を占めている
- 米子ーソウル間を結ぶ航空路線やDBSフェリー(韓国の東海港を基点に、日本の境港・舞鶴港と東海港の間を週一往復で運航しているフェリー)など、**交通インフラが整備されている**ため
- 韓国ではテレビショッピングなどを通じて旅行会社が商品造成を行っており、**団体客での来訪が多いため**

- 乗船客全体で、日本人の割合が9割を超えている
- 松江市も**インバウンド対策を行う課を設置する**など、外国人旅行者の取り組みを強化しているため、外国人の乗船客の割合は**今後ますます増加すると考えられる**
 - ・インバウンドとは…外国人旅行者を自国へ誘致すること

・平成22年以降、韓国からの観光客がほかの地域と比べ、とびぬけて多くなっている

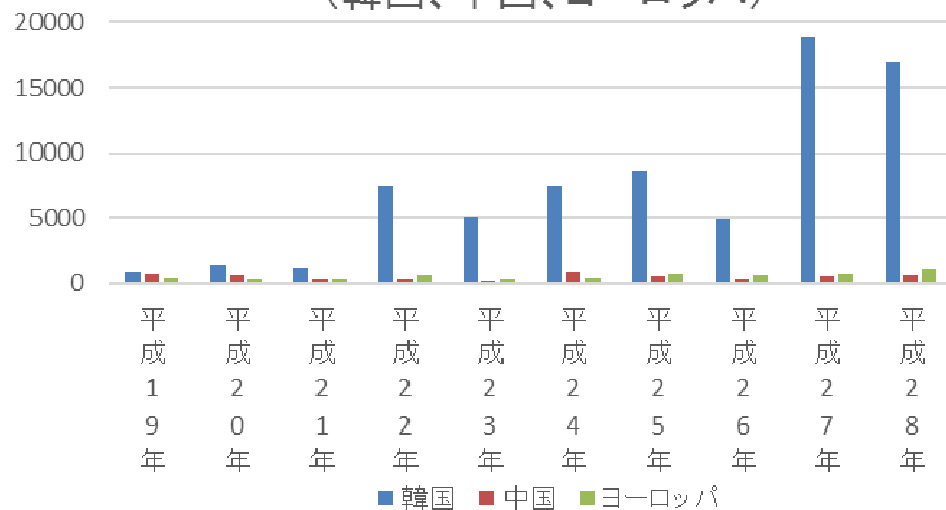
→平成22年以降、米子鬼太郎空港などが舞台となった韓国ドラマのロケ地巡りツアーに組み込まれていたのではないかと

→平成27年の松江城国宝指定に伴い、ツアーなどに組み込まれることにより、韓国人観光客が急激に増加したのではないかと

・中国、ヨーロッパに関しては10年間を通してあまり変化がない

→国宝指定などがあっても、中国やヨーロッパと山陰を結ぶ交通インフラがあまり整っていないことに原因があるのではないかと

図6 堀川遊覧船外国人乗船客数
(韓国、中国、ヨーロッパ)



堀川遊覧船の特徴と課題①

- **城を囲む**堀を使った遊覧船事業は松江が**唯一**。
→このことをもっとPRするべき！
- 中国人の爆買いなどの**経済波及効果**の影響をあまり受けていない。
→交通の問題、認知度の低さ

堀川遊覧船の特徴と課題②



- ・**冬場**の観光客数の増加。
→遊覧船に透明のシートで壁を作り、こたつの熱を逃がさないようにする。
- ・松江城の観光客の**取り込み**
→松江城を観光した人に一緒に遊覧船を利用してもらえるように、松江城とより本格的に**タイアップ**する。

<http://mahoroba.tea-nifty.com/blog/2011/08/post-2df5.html>